

2021年2月5日

## スズキ、2021年3月期第3四半期決算を発表

4～12月期は減収減益。通期業績予想は据え置き。

### 1. 第3四半期決算の業績概況

4～12月期は、4～6月期の減収減益を7月以降のインド、日本での販売回復や経費削減努力等でカバーできず、連結売上高は2兆1,755億円と前年同期に比べ4,506億円（17.2%）減少、営業利益は1,388億円と前年同期に比べ316億円（18.6%）減少しました。

経常利益は金融収支の改善もありましたが、1,749億円と前年同期に比べ199億円（10.2%）減少、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、投資有価証券売却益119億円の計上もあり1,132億円と前年同期に比べ34億円（2.8%）減少となりました。

### 2. 各セグメントの状況

#### (1) 四輪事業

4～6月期の減収減益を7月以降のインド、日本での販売回復や経費削減努力等でカバーできず、4～12月期では売上高は1兆9,618億円と前年同期に比べ4,153億円（17.5%）減少、営業利益は1,266億円と前年同期に比べ300億円（19.1%）減少しました。

#### (2) 二輪事業

大型二輪の販売シーズンである4～6月期の落込み、さらにインド、アセアンなど小型二輪の販売減少の影響により、4～12月期では売上高は1,454億円と前年同期に比べ368億円（20.2%）減少し、営業損失14億円となりました。

#### (3) マリン事業他

北米を中心とした大型船外機の販売好調により、4～12月期では売上高は683億円と前年同期に比べ15億円（2.3%）増加し、営業利益は136億円と前年同期に比べ2億円（1.5%）減少しました。

#### (4) 所在地別

4～12月期の所在地別の営業利益につきましては、日本およびその他地域は前年並みとなりましたが、欧州およびアジアは減益となりました。

### 3. 連結業績予想

2021年3月期通期の連結業績予想につきましては、依然として新型コロナウイルスの動向が不透明であり、また原材料価格や部品供給の問題等もあることから、前回予想を据え置きとさせていただきます。

(連結業績予想…通期)

売上高	3兆円	(前期比 14.0%減、前回予想を据え置き)
営業利益	1,600億円	(前期比 25.6%減、" )
経常利益	1,800億円	(前期比 26.7%減、" )
親会社株主に帰属する当期純利益	1,100億円	(前期比 18.0%減、" )

(為替レート) 1米ドル=106円、1ユーロ=120円、1インドルピー=1.43円、  
100インドネシアルピア=0.73円、1タイバーツ=3.38円

以上

※連結業績予想については、現時点で入手可能な情報及び仮定に基づき算出したもので、リスクや不確実性を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、さまざまな要因の変化により大きく異なることがありますことをご承知おき下さい。

※実際の業績に影響を及ぼす可能性がある要因には、主要市場における経済情勢及び需要の動向、為替相場の変動(主に米ドル/円相場、ユーロ/円相場、インドルピー/円相場)などが含まれます。